

# 令和6年度学校評価アンケート集計結果

(回答数：児童698人・保護者389人・教職員26人)

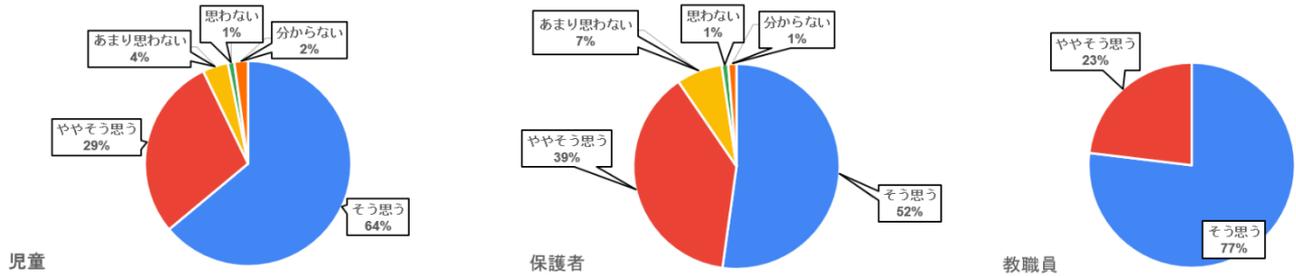
## 【資質能力の育成】

### 質問1

児童：学習はよくわかりますか。

保護者：お子様は、基礎的・基本的な学力がついていると思いますか。

教職員：基礎的・基本的な学力が定着するよう、個に応じた指導や指導法の改善に努めていますか。



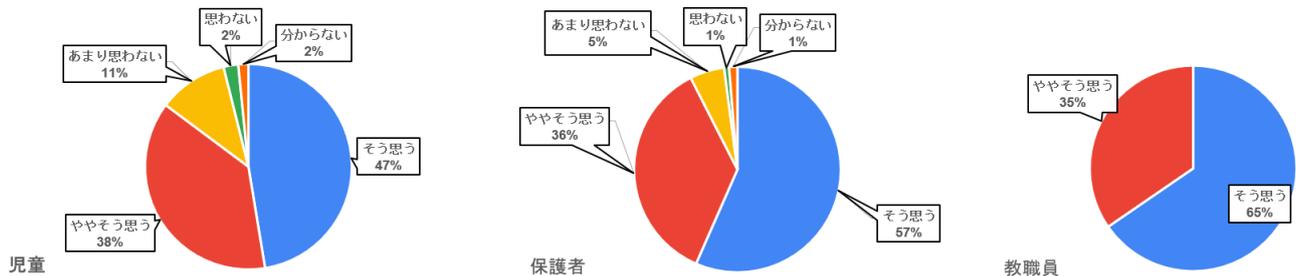
「そう思う」「ややそう思う」を合わせると、児童は93P、保護者は91P、教職員は100Pになり、昨年度と同等か僅かではあるがP数が上がっている。学習したことが身についている実感がある児童が多いと思われる。基礎的・基本的な学力の定着は大切なことであるので、今後も、思わない・分からないと感じている児童も含めてわかると思えるようなきめ細かな支援をし、個に応じた指導・支援の工夫・改善にさらに努めていきたい。

### 質問2

児童：勉強の時に、進んで友だちの話を聞いたり、自分の意見を伝えたりしていますか。

保護者：お子様は、友だちとかかわり合いながら学習をしていると思いますか。

教職員：「自分の思いをもち、かかわりを通して学び合う子をめざして」主体的・対話的な授業づくりを心がけていますか。



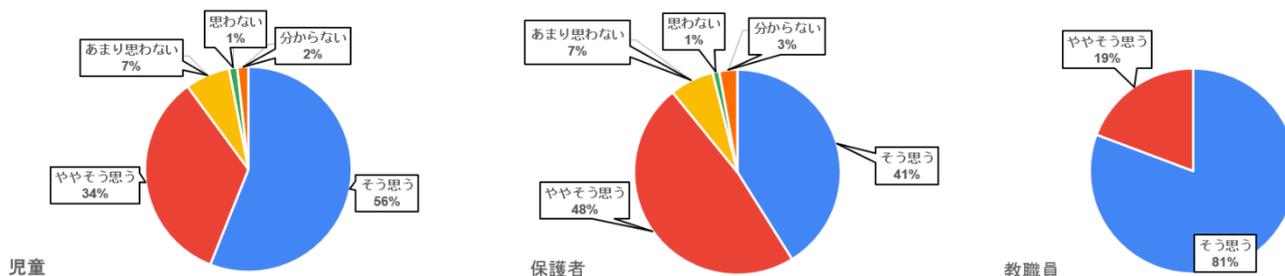
「そう思う」「ややそう思う」を合わせると、児童は85P、保護者は93P、教職員は100Pになった。P数で見ると、昨年度と同等かやや下がっている。児童が意見の交流を通じた学習のよさをさらに実感できるような学習の工夫をしていく必要があると思われる。友達とかかわり学び合うことは大切なことであるので、今後も、友だちとかかわり合いながら学習できる主体的・対話的な授業作りを進めていきたい。

質問3

児童：「やさしい話し手・あたたかな聴き手」を心がけていますか。

保護者：お子様は、自分や相手を尊重してかかわり合うことができていると思いますか。

教職員：校内研究と連動して「やさしい話し手・あたたかな聴き手」を意識し、自分と相手を認め合う人権教育を心がけていますか。



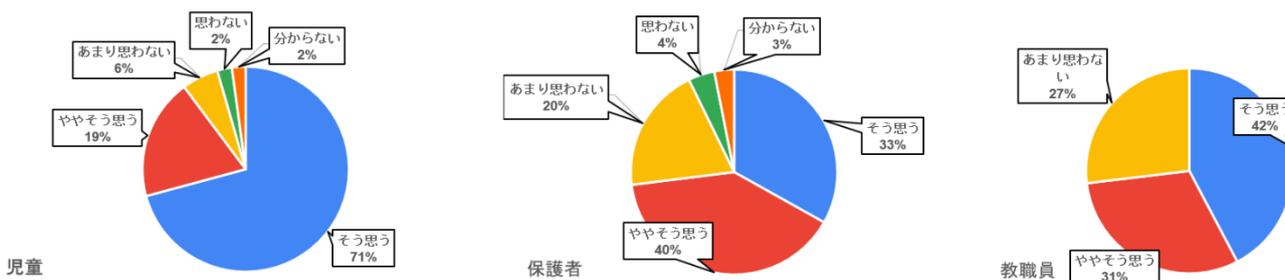
「そう思う」「ややそう思う」を合わせると、児童は90P、保護者は89P、教職員は100Pになった。教職員のP数は昨年度と同等だが、児童と保護者のP数が下がっている。「やさしい話し手・あたたかな聴き手」を児童・保護者が実感できる機会等についてまだ工夫が必要であると思われる。今後も、児童が意見や考えをこれまで以上に積極的に楽しく発信・受信していくことができるような環境の整備と支援を続けていくとともに、保護者が来校する機会等を捉えて「やさしい話し手・あたたかな聴き手」の具体を保護者に発信していきたい。

質問4

児童：GIGA端末は、自分の考えを伝えることや、友だちの考えを知ることなど、学習に役立つと思いますか。

保護者：お子様は、GIGA端末の利用を通して、学習を深めたり、表現の幅を広げたりしていると思いますか。

教職員：子どもがよりよく学ぶために、GIGA端末を活用していますか。



「そう思う」「ややそう思う」を合わせると、保護者は73PとP数が昨年度より上がっている。児童は90P、教職員は73Pと昨年度より僅かに下がっている。児童も教職員もGIGA端末を十分活用してきており、今後は新たな活用法をさらに探していく意識を持つことが必要になってくるのではないかとと思われる。また、保護者には、引き続き機会を捉えて児童がGIGA端末を活用している場面をもっとお知らせしたりお見せしたりできるようにしていきたい。

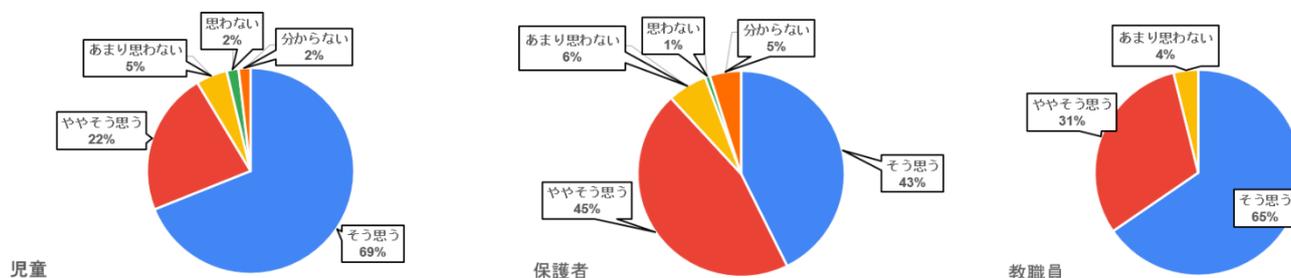
## 【認め合う心の育成】

### 質問5

児童：（友だち・先生・家の人など）困ったときに相談できる人がいますか。

保護者：個人面談や教育相談などでの情報交換が、日々の指導に活かされていると思いますか。

教職員：子どもの困り感を見つけ出し、学校に居場所ができるような環境づくりに努めていますか。



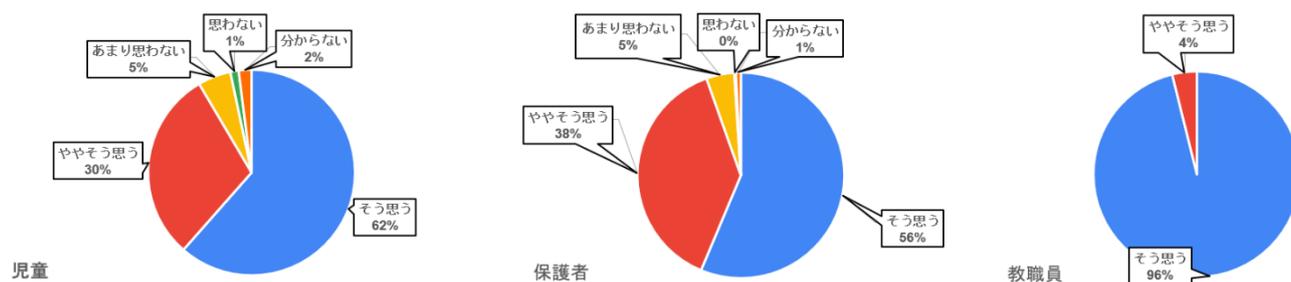
「そう思う」「ややそう思う」を合わせると、保護者は88PとP数が上がっている。児童は91P、教職員は96Pと、昨年度よりも下がっている。困ったときに相談できる環境を活用できた児童が実感できる機会等に工夫をする必要があるものと思われる。今後も、児童が相談しやすい環境をさらに整備するとともに、活用できるという児童の意識を高め、教職員が児童の様子をさらにきめ細かく見て、積極的に支援していきたい。

### 質問6

児童：「中原のやくそく」を守って過ごしていますか。

保護者：お子様は、「中原のやくそく」を守って学校生活を送っていると思いますか。

教職員：「中原のやくそく」を理解し、指導していますか。



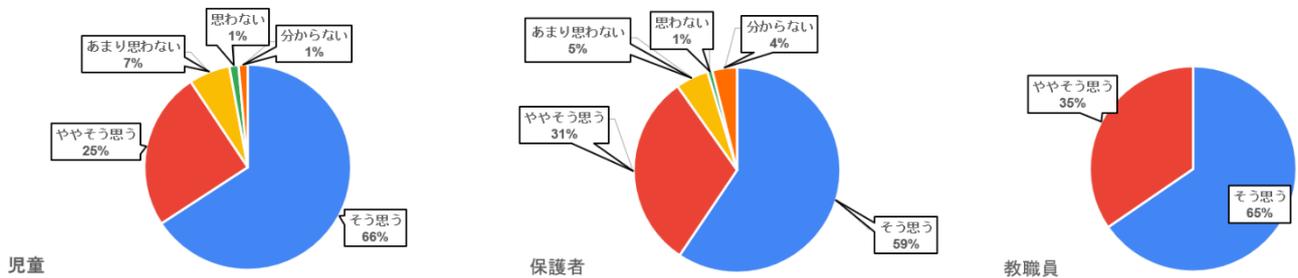
「そう思う」「ややそう思う」を合わせると、保護者は94P、教職員は100Pで、P数が昨年度とほぼ同等か上がっている。児童は92Pで、昨年度より僅かに下がっている。「中原のやくそく」は児童に浸透してきているが、まだの部分があると思われる。これからも教職員が工夫をしながら指導・支援にあたる努力を続け、児童がさらに豊かな学校生活を送ることができるようにしていきたい。

質問7

児童：係や委員会・実行委員会など、自分の仕事に進んで取り組んでいますか。

保護者：お子様は、係や委員会・実行委員会、集会などの活動に進んで取り組んでいると思いますか。

教職員：係や委員会、集会などの特別活動を通して、子ども同士がかかわり合い、主体的に活動できる場の設定を心がけていますか。



「そう思う」「ややそう思う」を合わせると、保護者は90P、教職員は100Pと昨年度よりP数が上がっている。児童は91Pと下がっている。児童が自分の仕事などに責任を持って取り組みやり切ったという実感が若干薄くなっているものと思われる。今後も、児童が主体的に活動できる場の設定などに工夫をこらし、その働きを認めるなどして、児童の自己肯定感を高め主体性をさらに伸ばしていきたい。

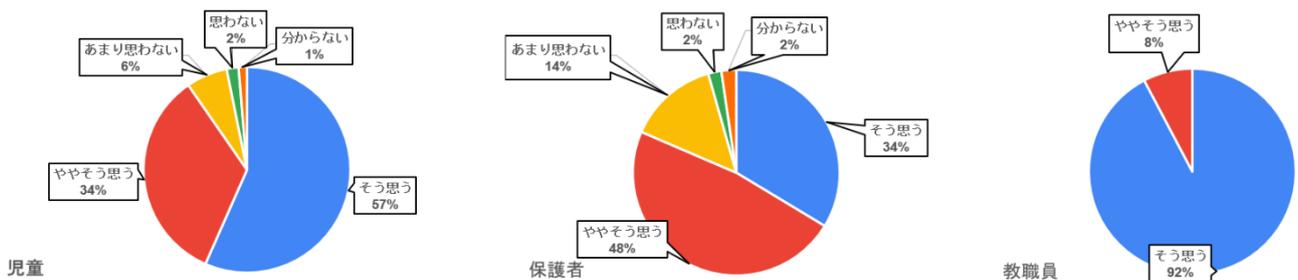
## 【心身の健やかな育成】

質問8

児童：友だちや学校にかかわる人や地域の人に、進んであいさつをしていますか。

保護者：お子様は、友だちや地域の方に進んであいさつをしたり、中原のまちを大切に感じたりしていると思いますか。

教職員：子どもに対して、あいさつの意義の指導や励行に努めていますか。



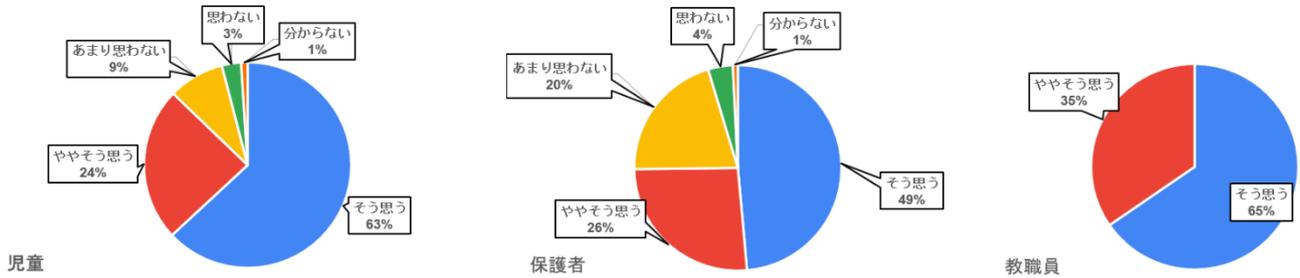
「そう思う」「ややそう思う」を合わせると、児童は91P、保護者は82P、教職員は100PとP数が昨年度と同等か上がっている。児童があいさつの意義や気持ちよさを理解し、日頃から実践しているものと思われる。これからも、あいさつの実践を励まし、楽しい学校生活に結びつくひとつの要素としてより定着するようにしていきたいと考える。

質問9

児童：進んで運動に取り組んでいますか。

保護者：お子様は、進んで運動に親しんでいると思いますか。

教職員：子どもの体力向上のため、体育の学習や運動の機会を工夫していますか。



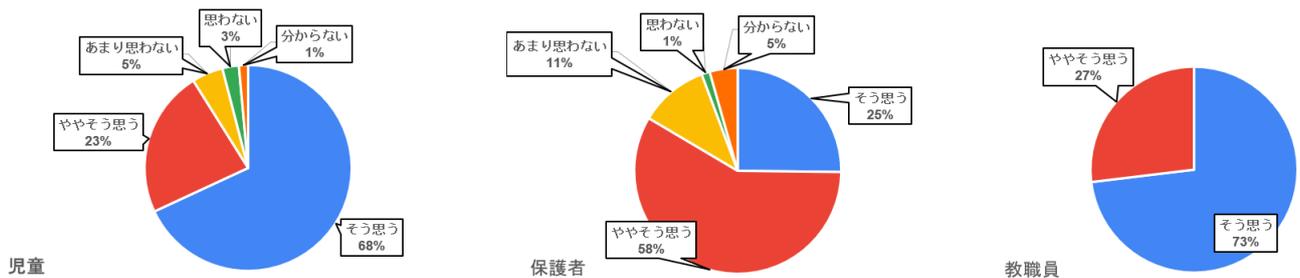
「そう思う」「ややそう思う」を合わせると、児童は87P、教職員は100PとP数がほぼ同等か上がっている。保護者は75Pと下がっている。保護者から見て、児童に運動習慣がついたとまでは言い切れないという感じがあるものと思われる。日頃から進んで運動に取り組むことはあまりしていないと感じている児童が一定数いると推測されるので、今後も、児童が運動することへの意欲を少しずつ高めることができるよう、教職員はさらに体育の学習や運動の機会を工夫して児童に関わっていきたい。

質問10

児童：安心して学校に通うことができますか。

保護者：防災防犯体制等、お子様の安全が図られていると感じますか。

教職員：防災安全のための学校内の取り組みを理解し、安全な環境づくりに努めていますか。



「そう思う」「ややそう思う」を合わせると、保護者は83P、教職員は100Pと昨年度と比べてP数が同等か上がっている。児童は91Pと下がっている。安心して学校に通うことができていると感じていない児童が一定数いるものと思われる。これからも、児童が安全に学校生活を送ることができるように、また、防災防犯体制等の環境整備を進めていくようにして、児童が安心して学校に通う事ができる環境整備をさらに進めていきたい。

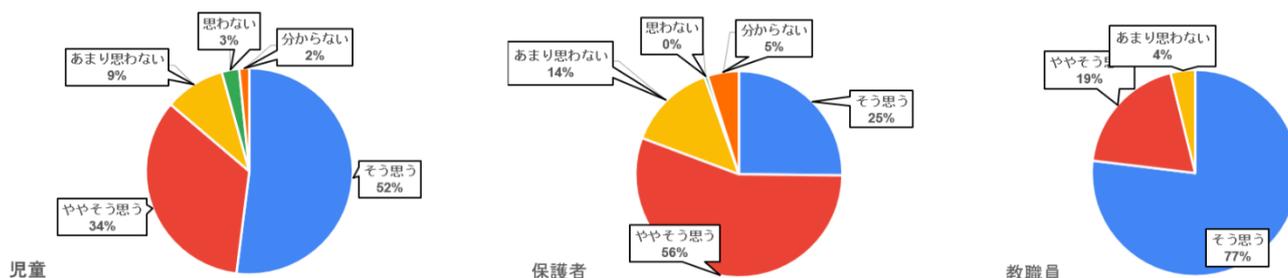
## 【学校愛・地域愛の育成】

### 質問11

児童：学校でのことを、家の人に話し、伝えていますか。

保護者：学校からの情報は、広く発信されていると思いますか。

教職員：子どもに関することや、学級・学年等に関する情報を保護者へ伝えていますか。



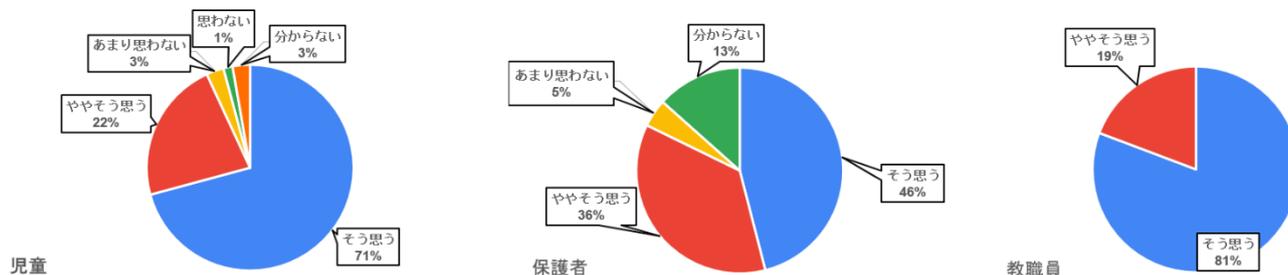
「そう思う」「ややそう思う」を合わせると、児童は86P、保護者は81Pと昨年度のP数より上がっている。教職員は96Pで、下がっている。学校からの情報が児童やミマモルメやお便り等を通して伝わっているが、まだ伝わり切れていない部分もあるものと思われる。これからも、児童からの発信と合わせて様々な機会を捉えての情報伝達をさらに充実させていく必要がある。わかりやすい情報伝達についてもさらに推進していきたい。

### 質問12

児童：学校の先生以外の先生（ゲストティーチャー）としての学習は、楽しかったですか。

保護者：地域協力者・外部講師により実施された学習は有意義だったと思いますか。

教職員：地域協力者・外部講師により実施された学習は有意義だったと思いますか。



「そう思う」「ややそう思う」を合わせると、児童93P、保護者は82P、教職員100Pとなり、昨年度と比べてP数が同等か上がっている。ゲストティーチャー等とする学習のよさ（有意義で楽しい学習と児童が感じている部分）が実感されていることと思われる。これからも、積極的に続けていきたい。